

まず確認

- あなたのお住まいはどちらですか？
- 最寄りの津波避難施設を探しましょう

保存版

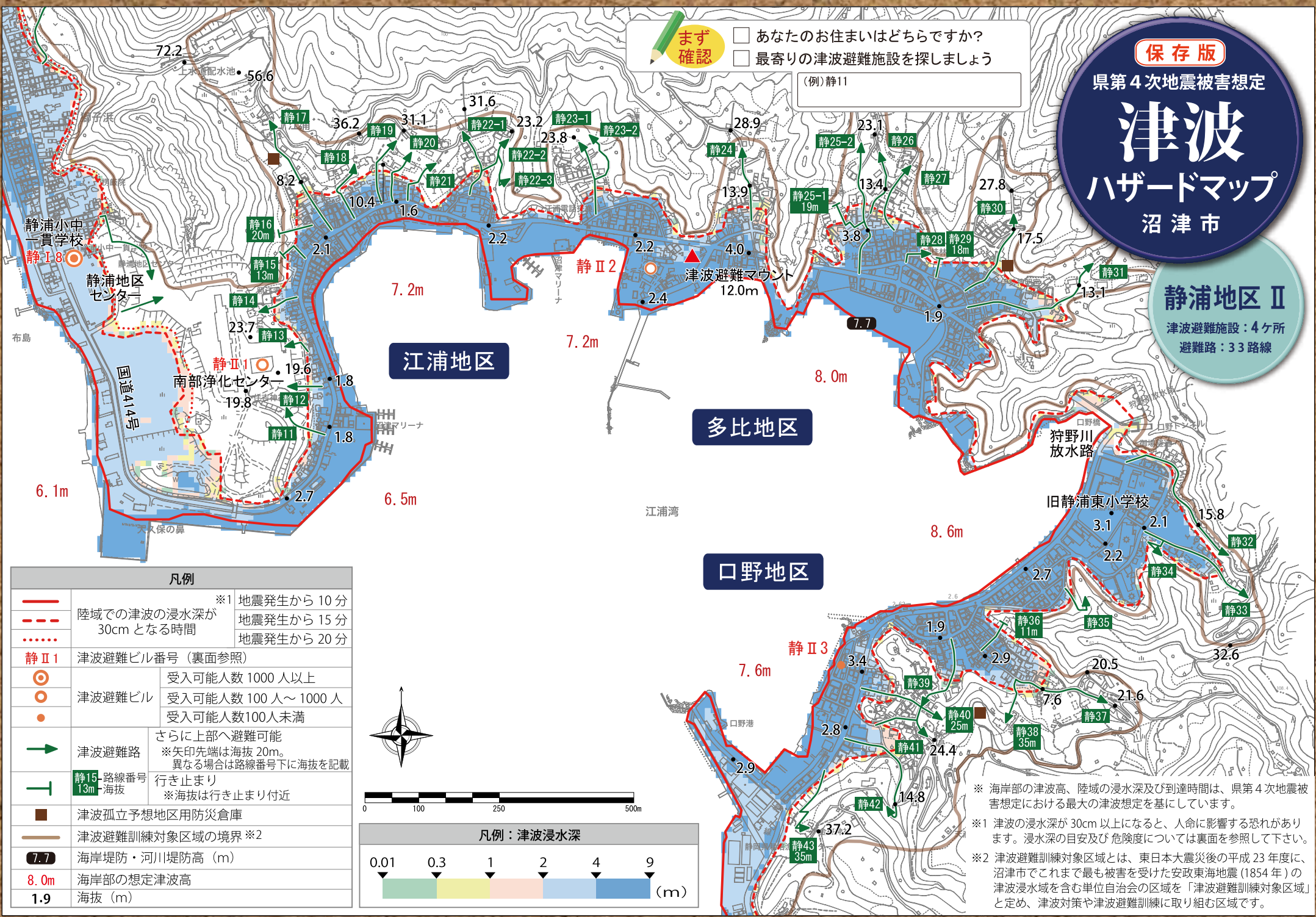
県第4次地震被害想定

# 津波ハザードマップ

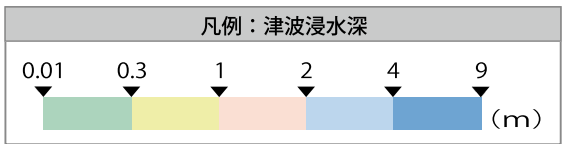
## 沼津市

### 静浦地区Ⅱ

津波避難施設：4ヶ所  
避難路：33路線



凡例	
	※1 地震発生から10分 陸域での津波の浸水深が
	地震発生から15分 30cmとなる時間
	地震発生から20分
<b>静Ⅱ1</b>	津波避難ビル番号（裏面参照）
	受入可能人数 1000人以上
	津波避難ビル 受入可能人数 100人～1000人
	受入可能人数100人未満
	津波避難路 さらに上部へ避難可能 ※矢印先端は海拔 20m。 異なる場合は路線番号下に海拔を記載
	静15-路線番号 13m-海拔 行き止まり ※海拔は行き止まり付近
	津波孤立予想地区用防災倉庫
	津波避難訓練対象区域の境界 ※2
	海岸堤防・河川堤防高 (m)
	海岸部の想定津波高
	海拔 (m)

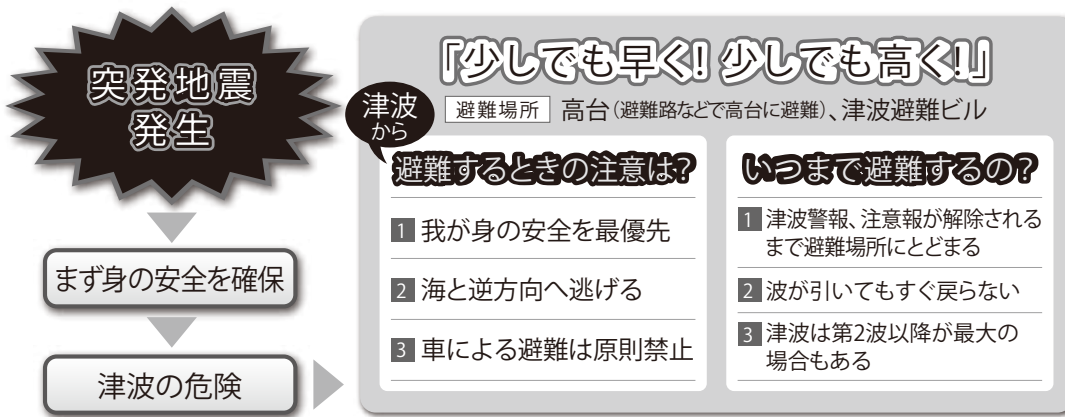


※ 海岸部の津波高、陸域の浸水深及び到達時間は、県第4次地震被害想定における最大の津波想定を基にしています。

※1 津波の浸水深が30cm以上になると、人命に影響する恐れがあります。浸水深の目安及び危険度については裏面を参照して下さい。

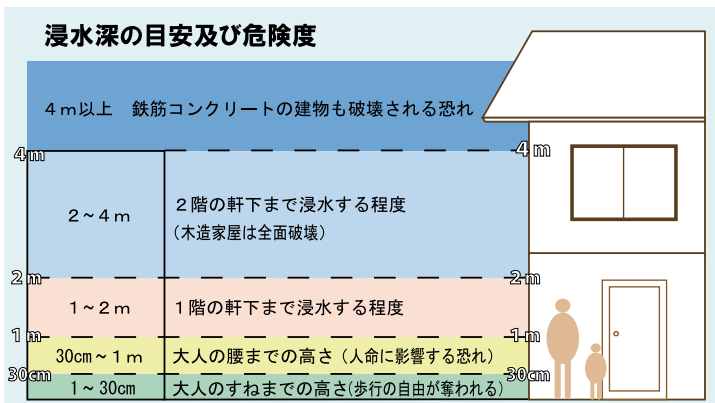
※2 津波避難訓練対象区域とは、東日本大震災後の平成23年度に、沼津市でこれまで最も被害を受けた安政東海地震(1854年)の津波浸水域を含む単位自治会の区域を「津波避難訓練対象区域」と定め、津波対策や津波避難訓練に取り組む区域です。

■ 地震・津波から身を守るために



■ ハザードマップの使い方①【浸水深の目安及び危険度】

このハザードマップは、地震で津波が発生したときに予測される浸水深を色別で表しています。浸水深の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場、学校がどの程度浸水するのか、またどの程度の危険があるのか確認して下さい。



■ ハザードマップの使い方②【避難経路を確認しよう】

あなたのお住まいはどちらですか?

最寄りの津波避難施設を探しましょう  
(例)避難路: 静11

最寄りの津波避難施設までの避難経路を確認しましょう

**避難経路を選ぶポイント**

徒歩で避難することを前提に、避難経路を選びましょう

- 津波は河川をさかのぼってきます。河川を渡る、近くを通るのは避けましょう
- 地震で建物やブロック塀などが倒れても通行できる広い道を選びましょう
- 夜間、停電時でも安全に通行できる目印のある道路を選びましょう

あなたの設定した避難経路を実際に歩いてみましょう

【気付いたこと】

【所要時間】 分

**避難経路を歩く時のポイント**

- あなたのお住まいから津波避難施設までの時間を確認しましょう
- 河川やブロック塀など、避難する時に障害となるものがないか確認しましょう
- 避難施設にたどり着く前に浸水が始まってしまった場合のために、近くにある避難施設となりそうな建物(鉄筋コンクリート造で3階以上)も確認しましょう

あなたのお住まい以外で、日頃よく訪れる場所(通勤通学先やスーパー等)からの避難経路も同じように考えてみましょう

■ 津波避難訓練対象区域の自治会

連合自治会	「津波避難訓練対象区域」の自治会
静浦地区	江浦、多比、口野

■ 津波避難ビル一覧

令和2年2月現在

No.	施設名	建物階数	外階段
静II1	沼津市南部浄化センター	3	無
静II2	(有)秋又水産冷蔵庫	3	有
静II3	マリンヴィラ沼津	3	有